

- ・PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通して、12カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

クランポンおよびコードテッククランポン



1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPEに対して生じた特殊な状況を記録する
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

	00	000	AA	0000
製造年				
製造日				
検査担当				

コード B:

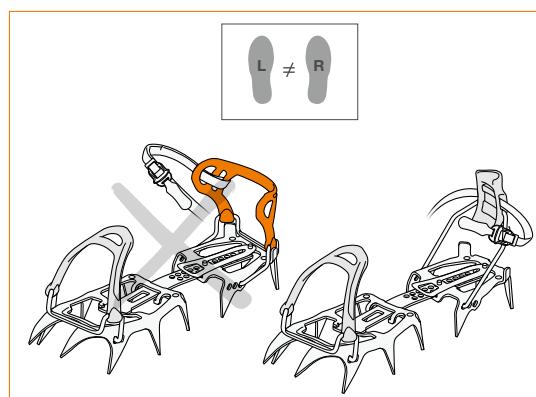
	00	A	0000000	000
製造年				
製造月				
製造番号				

耐用年数を超えていないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

3. クランポンのペアの確認

- ・クランポンの左右が同じモデルで、同じアクセサリーが付いていることを確認してください。



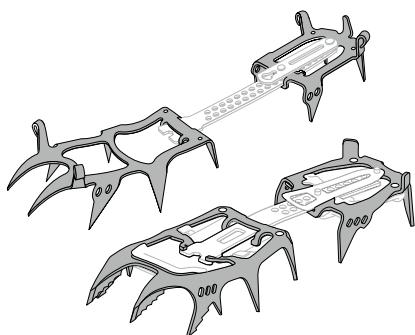
- ・フロントパーツとリアパーツ、およびアクセサリーが互いに適合していることを確認してください(クランポンの取扱説明書を参照してください)。

クランポンのアクセサリー /
スペアパーツ

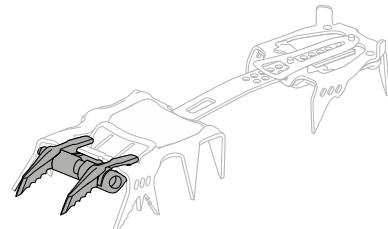
→ PETZL.COM

4. フロントおよびリアのパーツの点検

- フレーム全体について金属部分の状態(摩耗、ひび、変形、腐食など)を確認してください。

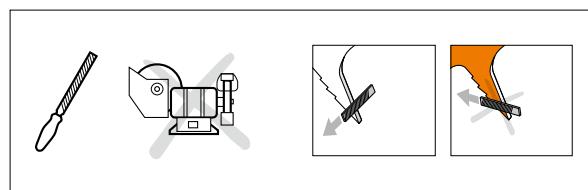
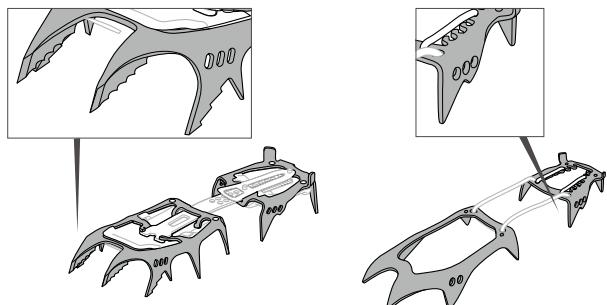


- LYNX では、取り外し可能なフロントポイントが適切に締め付けられ、良好な状態であることを確認してください。取扱説明書を参照して、選択したフロントポイントの設定に合わせてポイント、スクリュー、ナットおよびスペーサーが適切に取り付けられていることを確認してください。



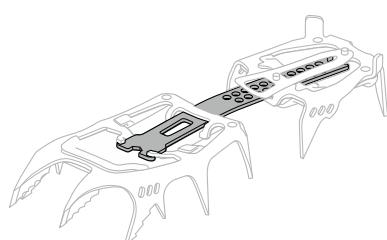
- ポイントの状態(摩耗、ひび、変形、腐食など)を確認してください。

- 必要に応じて、適切な工具でポイントを研磨してください。

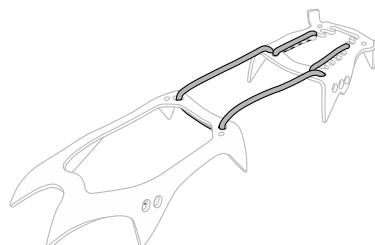


5. 長さ調整システムの点検

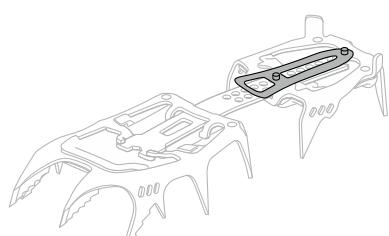
- リンクバーの状態(摩耗、割れ、変形、腐食など)と長さを確認してください。部品を動かして、隠れた部分を点検してください。
必要に応じて、バーを新しいパーツに交換してください。



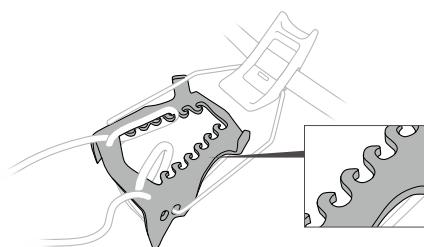
- 調整コードの状態(摩耗、ほつれ、縫い目など)を確認してください。摩耗箇所が隠れていないか確認するために、コードがクランボンと接触している全ての箇所を緩めてください。
必要に応じて、コードを新しいパーツに交換してください。



- 調節用タブの状態(傷、摩耗、ひび、変形、腐食など)を確認してください。

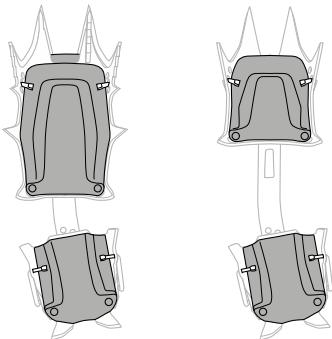


- 調節用フックの状態(摩耗、ひび、変形、とがったりざらざらしたエッジ、腐食など)を確認してください。



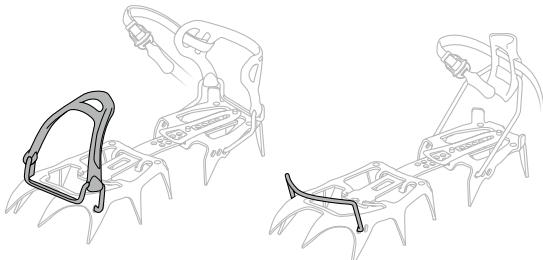
6.アンチスノーの点検

- フロントおよびリアの ANTI SNOW の状態 (摩耗、ひび、変形など) およびクランポンに取り付けるためのスクリューが付いていることを確認してください
必要に応じて、ANTI SNOW を新しいパーツに交換してください。



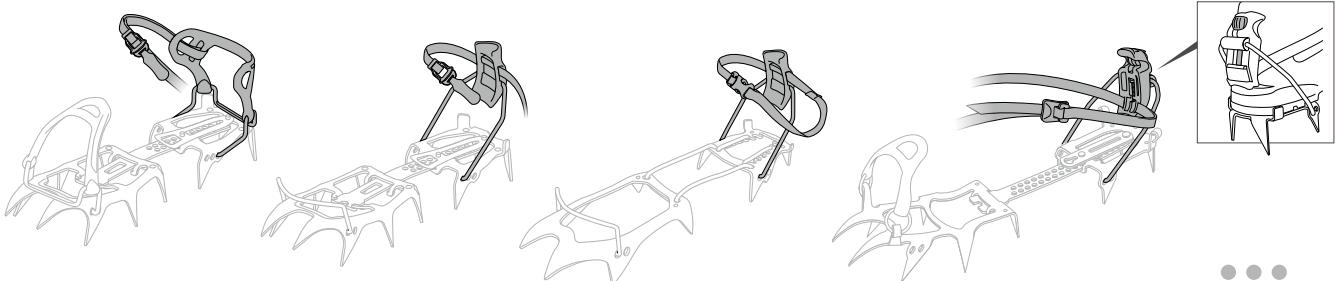
7.バインディングシステムの点検

- フロントのバインディングシステムの状態 (摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。
必要に応じて、フロントのバインディングシステムを新しいパーツに交換してください。



- リアのバインディングシステムの状態 (摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。
ストラップおよび調節バックルの状態を確認してください。
必要に応じて、リアのバインディングシステムを新しいパーツに交換してください。
必要に応じて、ストラップを新しいパーツに交換してください。

- ヒールレバー付のモデルは、その状態および機能を確認してください



8.ブーツへの装着の確認

- クランポンの取扱説明書に記載されている装着の方法を参照してください。

補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

・摩耗したポイント



・摩耗したポイント



・摩耗したポイント



・摩耗したポイント



・摩耗したポイント



・ひびの入ったフレーム



・損傷した ANTISNOW



・摩耗した ANTISNOW



・曲がったリンクバー



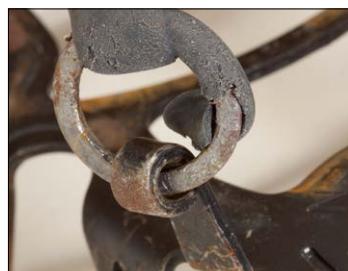
・腐食



・摩耗したバインディングシステム



・摩耗したバインディングシステム



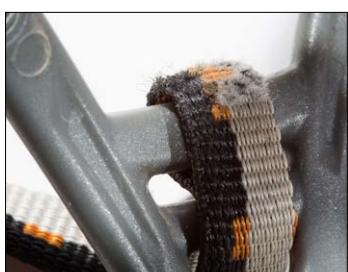
・摩耗したストラップ



・摩耗したストラップ



・摩耗したストラップ



・摩耗したコード



・摩耗し始めたコード

